

第 2 回 学校給食改革本部会議 議事録

令和 4 年 6 月 8 日

議題 1 (仮称)給食施設等整備方針(案)の策定について

議題 2 給食センターの候補地について

議題 1、2 を併せて資料に従い説明(説明者:学校給食・規模適正化担当部長)

(1) 主な意見等

(市長)候補地の検討に当たっては、周辺の住民意向も聴取しながら進める必要があると考える。

(学校給食・規模適正化担当部長)各区役所とも連携を図りながら、検討を進めていきたい。

(森副市長)他市の事例では、給食センターに学校給食の調理や配送以外の機能を付加している事例もあるものと承知している。中学校給食の全員喫食の実現に向けて、新たな給食センターを建設する場合には、給食調理等以外の付加的な機能についても検討した方が良いと考える。

また、給食センターの運営時には配送用トラックの通行が見込まれるため、周辺の道路状況なども考慮しつつ、土木部と事前に調整しておくなどの対応が必要である。

(学校給食課長)建設候補地の検討を進めるに当たっては、配送する校数やトラックの大きさなども加味した上で、道路状況を確認し、必要があれば関係各課と調整していきたいと考えている。

(隠田副市長)検討を進める上では、事業費についても明らかにしていく必要があるが、その積算に当たっては、センター自体の建設費のみならず、例えば、先ほどの議論にもあった周辺道路など、事業全体の必要経費をよく精査されたい。

事業を進めていく中で当初想定していなかった多額の事業費が必要になり、計画が頓挫することがないように先々まで見通して検討した上で積算すること。

(2) 結果

原案のとおり、承認。

以 上

第2回 学校給食改革本部会議

日 時：令和4年6月8日（水）
午前9時30分～10時15分
会 場：第1特別会議室

議題

- (1)(仮称)給食施設等整備方針(案)の策定
について

- (2)給食センターの候補地について

【出席者名簿】

1 構成員

No.	役職	職名	氏名
1	本部長	市長	本村 賢太郎
2		教育長	鈴木 英之
3	副本部長	副市長	大川 亜沙奈
4			森 多可示
5			隠田 展一
6	本部員	市長公室長	榎本 哲也
7		市長公室理事（政策調査担当）	石井 賢之
8		総務局長	奈良 浩之
9		財政局長	岩本 晃
10		教育局長	高橋 良明
11		総合政策・少子化対策担当部長	高林 正樹
12		財政担当部長	秋山 亮
13		学校給食・規模適正化担当部長	片岡 聡一
14		学校教育部長	細川 恵

2 招致関係者

No.	職名	氏名
1	緑区長	石原 朗
2	中央区長	田野倉 和美
3	南区長	菅谷 貴子

第2回学校給食改革本部会議

令和4年6月8日(水)

1 (仮称)給食施設等整備方針(案)の策定について

学校給食あり方検討委員会 (審議会)

教育的観点における給食の在り方と仕組み

教育委員会の諮問に応じて調査審議

【諮問内容(予定)】

- ・本市にとってふさわしい給食提供の実施方式
- ・全員喫食の環境を活用した食育の方針

調査審議の結果を教育委員会に答申

中学校完全給食実施方針の改定(案)

- ・答申を踏まえ、教育委員会が決定する教育的観点による方針

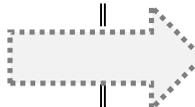
学校給食改革本部

学校給食に係る実務的検討と政策決定

実現性等の観点から市として審議

【所掌事務】

- ・中学校給食の全員喫食の実施
- ・給食施設の整備・運営等に係る事業費
- ・新たな給食施設の必要性・候補地の検討



審議状況を踏まえつつ検討

(仮称)給食施設等整備方針(案)

- ・既存施設改善方針
- ・新センター整備方針 (土地利用計画
施設配置計画)

並行して検討することにより、検討期間の短縮・実現性の向上

2 給食センターの候補地について

H17～
H18

H20

H22～
H23

H27

R 3

R 4 (予定)

1市4町合併

相模原市立中学校完全給食実施方針

策定

H20年11月

旧相模原市・
相模湖・藤野

選択制デリバリー方式
(完全給食の開始)

(H22年11月 15校
H23年10月 15校)

津久井・城山

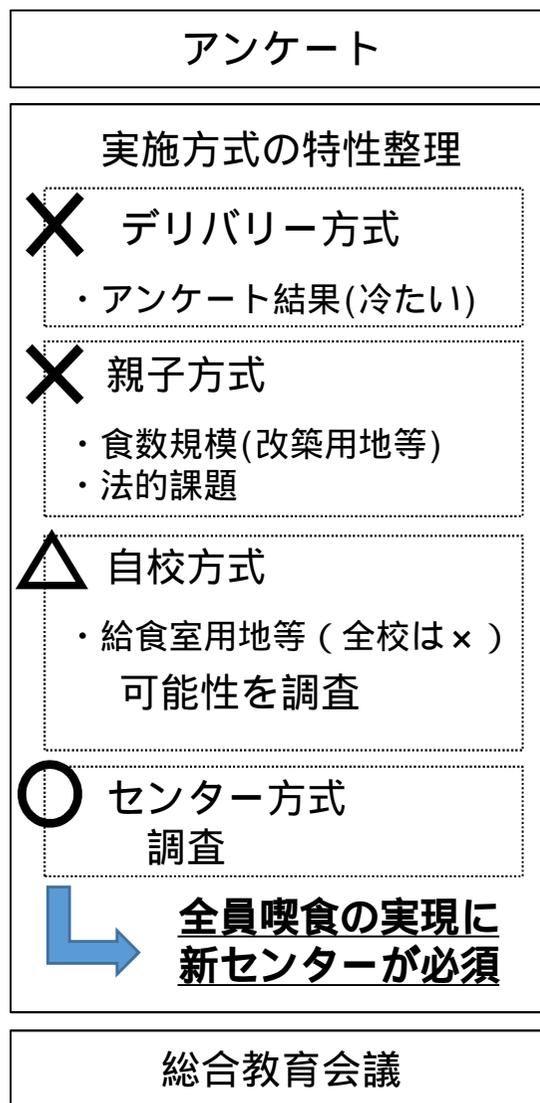
センター方式(継続)

相模原市立中学校完全給食実施方針

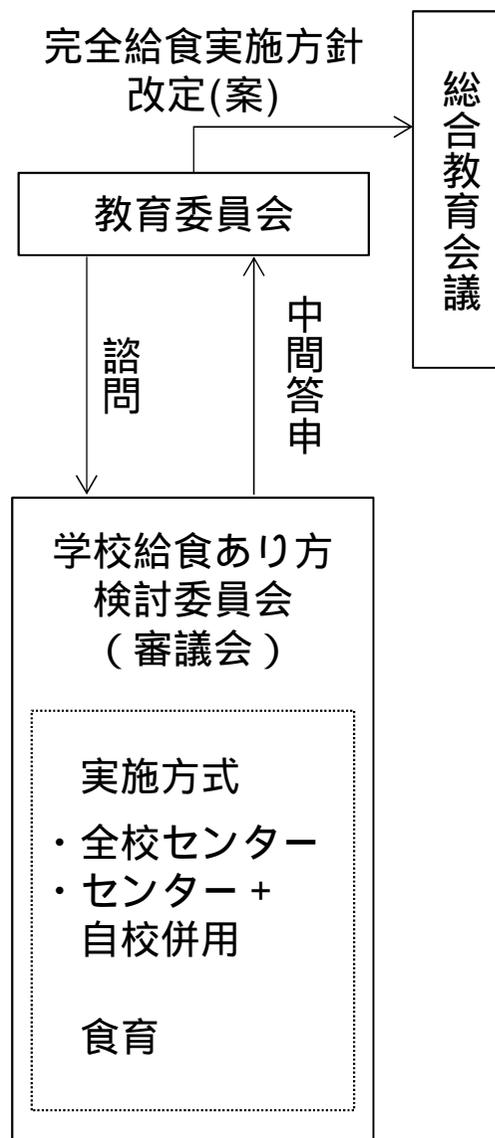
改訂

H28年2月

短期的にデリバリーの改善
将来的に全員喫食の実現



完全給食実施方針
改定(案)



学校給食改革本部.. (仮称) 給食施設等整備方針(案)

2 給食センターの候補地について

全員喫食の早期実現



新たな給食センターが必要
用地が課題

(規模等は継続して精査)

【給食センター検討の前提条件】

- ・ 最大 2万食 程度
- ・ 配送時の 実運行時間 30分程度
(調理後2時間以内に喫食)
- ・ 工場が建築可能な土地

注 それぞれの前提の詳細については、
要整理・精査

【最優先事項】

スケジュール (早期実現)



不確定要素の少ない用地を優先的に
「検討候補地」として設定

2か所を基本
1か所、概ね1ha(10,000m²)程度
工業系用途地域・市街化調整区域
造成や接道なども加味して選定



こうした条件により 候補地の選定を早急に進める